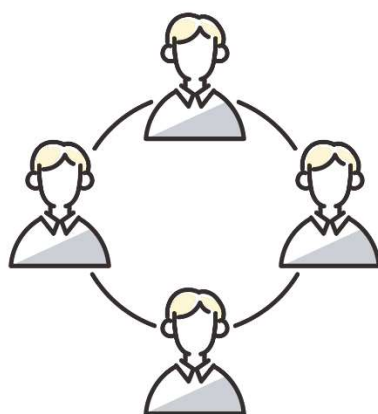


令和4年度

がんばる地域サポート事業 活動事例集



中津川市

～ 目次 ～

■絆づくり部門

No.	地区	団体名	事業名	代表者名	ページ
1	中津東	NPO法人 命の応援隊	野良猫の不妊手術の推進、 子猫などの保護・譲渡事業	平岩 君枝	2
2	苗木	苗木地域まちづくり推進協議会「夜明けの森委員会」	夜明けの森活性化事業	佐々木 孝	4
3	落合	落合まちづくり推進協議会 福祉文化教育部会	郷土資料利活用事業	飯森 修	6
4	落合	菰汲舎の会	菰汲舎活動事業	水野 克司	8
5	阿木	おもてなしの里 阿木	イベント・お祭り紹介プロジェクト事業	三宅 秀雄	10
6	神坂	神坂日陰対策の会	地域の道路の日陰対策と資源の有効活用事業	磯川 久一	12
7	坂下	坂下消防友の会	避難所運営サポーター事業	山内 将隆	14
8	川上	夕森振興ボランティアの会	滝巡りの遊歩道を整備する活動	小縣 雅文	16
9	加子母	加子母軽トラ朝市推進委員会	加子母軽トラ朝市推進事業	熊澤 博志	18
10	加子母	加子母防災士会	地域の防災意識の向上	瀬瀬 輝己	20
11	付知	付知サイクリング大会実行委員会	「～森林をかけぬけろ～付知サイクリング大会」	三浦 秀一	22
12	福岡	富士山公園を美しくする会	満天星つつじを守り継承する事業	花田 住夫	24
13	蛭川	蛭子座 友の会	蛭子座の積極的活用推進プロジェクト	山岡 英二	26

■立ち上げ部門

No.	地区	団体名	事業名	代表者名	ページ
1	中津東	中津東地区まちづくり推進協議会	子ども食堂立ち上げ事業	洞田 治	28

ふりがな 団体名	いのちのおうえんたい		地域名	中津東		地区	
	NPO法人 命の応援隊		会員数	10		人	
ふりがな 代表者名	ひらいわ きみえ		延べ 参加人数 内(会員数)	1,593 人(1,329 人)			
	平岩 君枝			・譲渡会 5人×132回=660人 ・保護活動等 3人×311回=933人			
事業名	野良猫の不妊手術の推進、 子猫などの保護・譲渡事業						
総事業費 内(補助金額)	334,630 円 (200,000 円)		実施期間	令和 4 年 5 月 16 日から 令和 5 年 3 月 22 日まで			
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号			②③
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業 内容	事業の目的						
	野良猫が増えないように不妊手術を推進する。 また、捨て猫や子猫などの里親探しを行う。						
	具体的な活動内容						
	・保護猫ハウス「なないろ」を始動し、猫と触れ合いたい、猫と暮らしたいけど暮らせない方などにチラシやホームページなどで呼びかけ、猫と触れ合える場所の提供をしながら、預かった子猫(50匹)の里親探しを行った。 ・保護猫ハウス「なないろ」で怪我をした猫、病気で行き場の無い猫を保護し面倒を見た。						
	主な活動の流れ						
	保護猫ハウス 「なないろ」 準備 5月オープン	「なないろ」 チラシ作成	※コロナの影 響で休業の日 もあり		イベントに参加 してPR		
	4月	6月	8月	10月	12月	2月	
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
	・保護猫ハウス「なないろ」で、猫の保護などができるようになったが、受け入れも限度があるため、今後の課題である。 ・猫の不妊去勢手術支援事業補助金ができただけで、野良猫のTNR(捕獲、手術、戻す)活動が進んできています。しかし、地域の方で野良猫に餌を与え、近所に対して糞尿など被害を与えているなどの場合、殺処分を回避していただく為、餌の与え方の指導やトイレの相談など行っていければと考えています。						
	今後の展開(自立に向けた活動)						
・保護猫ハウス「なないろ」を中心にイベントを行いながら譲渡会などを定期的に行きたい。 ・今後、保護猫ハウス「なないろ」を入場料をいただける施設に事業展開していきたいと思っています。							

保護猫ハウスなないろ 活動

仔猫の保護依頼に出来る限り応じます。

猫を保護し健康管理を行います。



全く人馴れしていない猫の保護をして人に馴れ、里親さんに繋げていけるようにしています。



ふりがな 団体名	なえぎまちきょう よあけのもりいんかい		地域名	苗木		地区
	苗木まち協 夜明けの森委員会		会員数	14		人
ふりがな 代表者名	ささき たかし		延べ 参加人数 内(会員数)	146 人(146 人)		
	佐々木 孝			4月…5人、5月…12人、6月…19人、7月…19人、8月…36人、9月…17人、10月…17人、11月…23人、12月…21人、1～2月…人		
事業名	夜明けの森活性化事業					
総事業費 内(補助金額)	210,000 円 (200,000 円)		実施期間	令和 4 年 4 月 13 日から 令和 5 年 3 月 8 日まで		
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号 ③・④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	<p>高峰湖を中心とした素晴らしい景観を維持し、地内をめぐる遊歩道の保守点検、また植栽された多種類の樹木や生息する希少植物、昆虫などの保護を通してこの地域の良さを広く区民、市民に紹介し、四季を通じて市民の憩いの場としての定着を図るため以下の活動を推進する。</p> <p>①夜明けの森の遊歩道を整備し、東屋、ベンチ等の修復を図り、安心して散策できる環境にする。</p> <p>②高峰湖周辺の景観を改善し、生息する植物や四季の景観を紹介するガイドマップ制作を行う。</p> <p>③自立できる組織を目指し、販売グッズの開発、制作に取り組み、夜明けの森を学習の場とするイベントの開催を企画する。</p>					
	具体的な活動内容					
	4～5月・環境整備作業…1回(テニスコート、トイレ周辺、芝生広場の草刈り)・ウォーキングルート看板の設置					
	6～7月・環境整備作業…3回(管理棟周辺から菖蒲池、東屋までの草刈り)(高峰湖周回コースノ残りの草刈り)(管理棟周辺のツツジの剪定)					
	8月・山の日イベント開催(枝笛づくり他)・環境整備作業…1回(高峰山荘～菖蒲池までのサツキの剪定)					
	9月・環境整備作業…2回(テニスコートから芝生広場の草刈り)(菖蒲池と東屋周辺、階段のある遊歩道の草刈り)					
	10月・環境整備作業…2回(高峰山荘から東屋、チンノ湖、モミジの道の草刈り)(モミジの道の残り、堤防からレジストロ公園の先の草刈り)					
	11月・環境整備作業…3回(チンノ湖より左折する道、ハナノキの道の草刈り完了)・東屋(チンノ湖下の2棟の塗装作業)					
	12月・環境整備作業…東屋(菖蒲池)の塗装作業、レジストロ公園は倒壊の恐れあり中止、管理棟のサツキ、ツツジの剪定					
主な活動の流れ						
	看板設置 環境整備 (草刈・剪定) グッズ製作	イベント開催 環境整備 (草刈・剪定) グッズ製作	環境整備 (草刈)	東屋整備 (塗装) グッズ製作	次年度の計画 ガイドブック (制作) グッズ製作	ガイドブックによる (講習会) グッズ製作
	4～7月	8～10月	11月	12月	1～2月	3月
<p>3年間のがんばるサポート事業のおかげで、夜明けの森の環境整備ができたことを感謝したい。当初は遊歩道からの景観も悪く、草や笹が茂って歩きにくいところもあったが、今は高峰湖も一望でき、チンノ湖の奥や治山ガーデン方面も歩きやすくなった。特に伸びすぎた樹木が伐採され、下草が刈られたためツツジがとても目立つようになった。また、植生調査も行い、夜明けの森の草花、樹木などを紹介するガイドブックが形になった。まだ、手を加える必要があるが、夜明けの森に関心を広げる材料になればと思っている。</p>						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>整備した高峰湖周辺を、子ども達の学習の場として活かしたい。70種類以上の多様な樹木や草花、野鳥や昆虫などの自然環境を紹介し、小中学生を中心とした自然学習の場としての活用を図り、市民の憩いの場としていけるよう活動していきたい。</p> <p>ハイキング・ウォーキングなど、夜明けの森を会場とした催しを、関係機関等と連携して実施したい。又、森守ワールドで委員会として獲得した小物作りのノウハウを生かして、販売のできるグッズの製作を目指し自立できる活動を考えていきたい</p>						

令和4年5月19日(木) 8時～13時

テニスコート中&周辺、管理棟、芝生広場までの草刈りを実施

2022/4/13(水)



ウォーキング看板の設置

令和4年8月11日(木) 8時～11時

山の日のイベント開催(クラフト・ペンダント、枝笛作り)



令和4年8月26日(金)8時～11.5時

環境整備作業5回目…剪定作業(高峰山荘から菖蒲池までのサツキ、ツツジ)



令和4年11月22日(火)東屋の塗装

ガイドブック制作&販売グッズの試作



令和4年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	おちあいまちづくりすいしんきょうぎかい ふくしぶんかきょういくぶかい		地域名	落合	地区
	落合まちづくり推進協議会 福祉・文化・教育部会		会員数	13	人
ふりがな 代表者名	かいちょう いいもり おさむ		延べ 参加人数 内(会員数)	226 人(13 人)	
	会長 飯森 修				
事業名	郷土資料利活用事業				
総事業費 内(補助金額)	80,257 円 (80,000 円)		実施期間	令和 4 年 7 月 1 日から 令和 5 年 3 月 24 日まで	
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号 ④⑨⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的				
	先人が残した地域に関連した資料や伝承を読み解いて、自分たちの暮らす地域の歴史や文化の中から「宝」となるものを再発見し、地域に愛着や誇りを持てる市民を育てる。				
	具体的な活動内容				
	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史・文化に関わる資料の整理・データ化 郷土資料の読み解き 郷土資料を地域の活動に活用する 事象を地域の「宝」として意識づけ、地域活性化、落合の魅力向上、文化の継承に結びつける 				
	主な活動の流れ				
	<p>※「落合郷土誌」デジタルデータ化</p> <p>※郷土資料の活用促進</p>				
	具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）				
	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和45年に発行され、在庫切れとなっていた「落合郷土誌」をデジタルデータ(DVD)化できた。 デジタルデータ(DVD)化により、在庫のなかった「落合郷土誌」の入手や閲覧が容易になった。 青少年健全育成や学校において、郷土資料が活用された。 <p>(苦労したこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルデータ化の原本となる状態の良い「落合郷土誌」を見つけ出すのに苦労した。 				
	今後の展開(自立に向けた活動)				
<p>■引き続きまち協として</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度発行の「続落合郷土誌」と併せて、地域の歴史を振り返るための資料として活用したい。 失われつつある資料を掘り起こして整理・データ化するなど、将来にわたって利用可能な記録とする。 残された資料を活用し、落合の歴史や文化を継承する活動を行っていく。 					

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



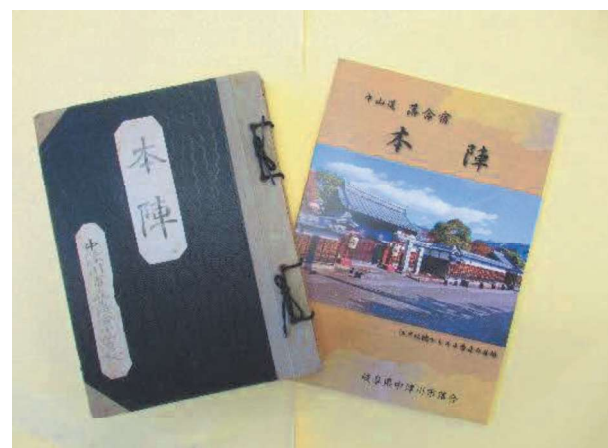
▲デジタルデータ化された「落合郷土誌」を収めたDVD盤。



▲デジタルデータ化の原本である「落合郷土誌」（昭和45年刊）。長らく在庫切れで、調査や研究の要望に応えきれなかった。



▲活動の中で見つけ出された資料。落合の歴史や文化が記録されているが、将来失われる可能性も考えられる。



▲公民館の歴史サークルが編集した「本陣」（平成29年/右）とその参考資料となった落合小学校編の「本陣」（昭和35年/左）。

2022 ■全員に参加賞あります！

落合の良さを知ってクイズに挑戦！

- ✓『落合の民話』と『続落合郷土誌』から出題されます
- ✓家族みんなでクイズに挑戦してね！
- ✓問題は冬休み前に学校でもらってね！

◆参加対象

- ◎落合小学校児童（『落合の民話』から出題）
- ◎落合中学校生徒（『続落合郷土誌』から出題）

★ぜひ、みんな参加してね！
★全問正解者には落合マイスターとして認定します

- ✓『続落合郷土誌』は全戸に配布されています。
- ✓『落合の民話』は落合地区に伝わる民話や伝説など53話が収録されています。
- ✓『落合の民話』は学校と落合事務所にあります。
- ✓落合事務所で購入することもできます。（1,000円）

主催	青少年健全育成推進市民会議 落合支部
----	--------------------

▲青少年健全育成市民会議落合支部は、「落合の民話」「続落合郷土誌」を使ったクイズで子どもと郷土資料を結び付けた。



▲小学校の菰汲舎運営委員会の子どもたちは郷土資料を活用して、落合宿本陣や中山道を紹介する資料を作成した。

令和4年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	しきゅうしゃのかい		地域名	落合		地区
	孜汲舎の会		会員数	5		人
ふりがな 代表者名	かいちょう みずの かつし		延べ 参加人数 内(会員数)	145 人(53 人)		
	会長 水野 克司					
事業名	孜汲舎活動事業					
総事業費 内(補助金額)	205,398 円	(200,000 円)	実施期間	令和 4 年 7 月 1 日から 令和 5 年 3 月 24 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④⑨⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
○地域に暮らす先人として、子どもたちに自分たちの暮らす地域の歴史や文化を伝え、ふるさとに愛着や誇りを持てる子どもを育む。						
※孜汲舎(しきゅうしゃ):落合小学校の前身となった寺子屋の名。						
具体的な活動内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・学校におけるふるさと学習の支援 ・教材としての郷土資料の整理・データ化 ・活動を通じた学校と地域との協働促進 ・新たな活動人材(会員)の発掘 						
主な活動の流れ						
事業 内容	※郷土学習支援		落合小学校郷土学習支援			
	※「中津川市の民話」発行		資料確認・編集	印刷製本・12/15発刊	配本	クイズ大会
	4月	6月	8月	10月	12月	2月 3月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
(成果)						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や文化を子どもたちに伝える活動ができた。 ・地域の歴史や文化に触れることで、子どもに地域への愛着や誇りが芽生えたようだ。 ・孜汲舎の会と学校の活動との連携、子どもとの関わりを深めることができた。 						
(苦労したこと)						
・子どもとの関わり方や子どもの活動時間の制約(下校時間)に苦労した。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<ul style="list-style-type: none"> ■引き続き孜汲舎の会として ・地域の歴史や文化への関心や知識を深めることで、子どもの目を通じた地域の「宝」を再発見する。 ・「宝」としての意識づけを地域に発信し、地域活性化、落合の魅力向上、文化の継承に結びつける。 ・学校と地域の連携を深めて、地域学校協働活動を推進する一助とする。 ・活動に関わる人材を増やす。 						

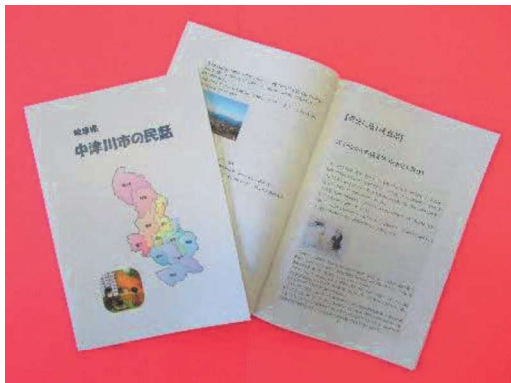
活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



▲小学校内の「孜汲舎」の部屋(空き教室利用)で、運営委員会を開催するなど、子どもと共に活動した。



▲子どもたちと医王寺を訪れて、キツネこうやくの伝承について現地学習をした。



▲市内各地に伝わる昔話や言い伝えを集めた「中津川市の民話」を発行して、民話の伝承や会の活動に活用した。



▲民話クイズ大会では、孜汲舎運営委員が各学年の教室を巡って、全問正解者(36人)一人ひとりに全問正解賞を手渡した。

(令和4)年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	おもてなしのさとあぎ		地域名	中津川市阿木		地区
	おもてなしの里阿木		会員数	11		人
ふりがな	みやけひでお		延べ 参加人数 内(会員数)	6500 人(11 人)		
	三宅秀雄			インフルエンザウイルス拡大によりイベントの中止が多く、見学者は例年より少ないようでした。つるし飾りには多くの方が見学に来てくださいました。		
事業名	イベント・お祭り紹介プロジェクト					
総事業費 内(補助金額)	235,590 円 (200,000 円)		実施期間	令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで		
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号 ④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的					
	中津川市阿木、飯沼、広岡では地元のお祭り、イベント等を紹介する団体がありません。阿木地域のお祭り、イベント等を紹介して地域外の多くの人々に参加をしていただき、阿木地区の良さを知って戴きたいと思っております。					
	具体的な活動内容					
	阿木有志9団体を紹介したマップ3000部、ポスター100枚、花ハス祭看板を1枚、阿木大イチョウ案内看板2枚、花ハスのぼり50枚、阿木城のぼり30枚を作りました。成果品を利用して新聞社などの報道機関、中津川市恵那市関係各課等への働きかけを行いPR活動を行った。					
	主な活動の流れ					
		執行部会 マップ、ポスター 印刷発注	執行部会 マップ、ポスター 完成	執行部会 マップ、ポスター 各方面え配布	執行部会 看板発注 看板完成	
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
一年中コロナが続いて大きな活動が出来ませんでした。阿木ハス祭は、各新聞社にお願いして、宣伝をしました。また中津川市観光情報サイトに掲載していただきました。つるしびな祭りは、各種宣伝のおかげで期間中 多くの方が見学に来てくださいました。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
中津川市観光課と協力してインターネットで配信していただく。恵那市観光協会、明知鉄道等において、各行事のPRをしていただく。今までどうり中日新聞、岐阜新聞、ぎふチャンテレビ等に各行事の掲載をお願いしていく。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



花ハスののぼり 50枚作製



阿木城のぼり 30枚作製



大イチョウ看板作製



大イチョウ看板作製



おもてなしの里阿木ポスター100枚作製



おもてなしの里あぎマップ3000部作製

(令和4)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	みさかひかげたいさくのかい	地域名	神坂	地区
	神坂日陰対策の会	会員数	20人	
ふりがな 代表者名	かいちょう いそかわ きゆういち	延べ 参加人数 内(会員数)	201人(199人)	
	会長 磯川 久一		* 打合せ会議など	26人(24人)
事業名	地域の道路の日陰対策と資源の有効活用事業	実施期間	令和4年6月1日から	
			令和5年3月22日まで	
総事業費 内(補助金額)	207,969円 (200,000円)			
事業 分類	番号 ①	活動 分野	番号 ②③	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他	
事業の目的				
<p>神坂地区の主な道路は、山林に沿った所が多く通学路や歩道、車道など通行に支障をきたしている状況です。</p> <p>この会では、こうした中、道路沿いの立木伐採を行うことにより、見通し良く交通の便も良くなり、通学路の安全や住民の往来が進むと考えています。又、伐採材の活用を行い薪などの副産物利用が図れるとも考えています。</p> <p>このような取組を行い、住民に関心を持ってもらえるような日陰対策を進めていきたいと思っています。</p>				
具体的な活動内容				
<p>* 役員会議の開催 協議内容：1.伐採要望、伐採場所の検討と選定 2.今後の日程調整 3.機材などの購入 4.安全確認など。</p> <p>* 区長会などとの打合せによる活動場所などの選定を行った。</p> <p>* 共同作業実施のための機材などの見積もりをもとに、交渉を行い購入を行った。</p> <p>* 作業実習会を行い、道路沿いなどの伐採作業を実施した。</p> <p>* 伐採木の運搬作業を実施した。</p> <p>* 薪作りの作業実習を実施した。</p>				
主な活動の流れ				
	役員会議	役員会議	機材などの購入	
			伐採・運搬作業	薪作り実習作業
6月	8月	11月	12月	1月、2月 3月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)				
<p>* 役員会議などコロナ禍の中、予定通り開催する事ができなかった。</p> <p>* 伐採作業や運搬作業など安全・安心に注意し作業が実施できたことは良かった。</p> <p>* 薪作りの作業実習ができて良かった。</p> <p>* 伐採作業後、道路の日当りや見通しが予想通り良くなった。</p> <p>* PTA会長より「通学路が明るくなり見通しが良くなった」とお礼をいただいた。</p>				
今後の展開(自立に向けた活動)				
<p>* 危険を伴う作業であり、安全・安心には充分注意し事業を展開することが必要。</p> <p>* 薪ストーブ利用者などに呼びかけ、新たな会員を募る。</p> <p>* この事業を更に進めることで、交通の便が良くなり通学路の安全や住民の往来が進むよう取組む。</p>				

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



* 細野高野地内市道、伐採前



伐採後



* 馬籠地内通学路の、伐採前



伐採後



* 薪作り実習作業



令和4年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	さかしたしょうぼうとものかい	地域名	坂下	地区	
	坂下消防友の会	会員数	92	人	
ふりがな 代表者名	やまうち まさたか	延べ 参加人数 内(会員数)	140 人(92 人)		
	山内 将隆		・事前役員会……………12名 ・総会24名(委任状55名)……計79名 ・研修会16名+23名……………計39名 ・事後役員会……………10名		
事業名	避難所運営サポーター事業				
総事業費 内(補助金額)	217,477 円 (200,000 円)	実施期間	令和 4 年 6 月 28 日から 令和 5 年 3 月 3 日まで		
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	①・②
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的				
	坂下消防友の会は、消防団の側面的支援団体として、平成20年の設立以降有事における団活動の応援、支援、操法県大会出場における協賛金の募集活動を行って来ました。 近年の「地球温暖化」による気象状況の変化で、「迷走台風や線状降水帯」の停滞で予想外に雨量が増加している状況において、令和3年5月の「災害対策基本法」の改正に伴い、木曾川に隣接する坂下地区では、避難指示が頻回し今後も避難所の開設が予想されます。そこで当会の活動の一環として避難所運営の一助を担い、地域住民の福祉の向上と、安心安全な坂下地区に寄与することを目的としています。				
	具体的な活動内容				
	・避難所運営サポーターとして、避難所運営に必要な知識習得のため講演会、研修会に参加する ・指定避難所の開設に伴う、避難所資材の搬入及び受け入れ体制の準備、応援 ・防災士会を核とした「坂下地区防災対策協議会」との連携による防災力向上に向けた防災会議を計画する				
	主な活動の流れ				
会議	・役員会(本部役員会)		・役員会		
総会	・総会(事業承認)				
資材購入	・資材購入(ベスト、避難所感染防止品)				
研修			・役員向け研修	・会員向け研修	
	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)					
・会員の「避難所運営サポーター」としての意識高揚の意味から、補助金を活用してサポーターベスト、作業用手袋を揃えることが出来た。 ・避難所運営の知識習得のための研修会を実施した。コロナ禍の影響もあり役員研修会(16名参加)、会員研修会(23名参加)の2回に分けて実施した。(講義・実技) ・コロナ禍の影響で災害対策協議会との連携による「防災会議」の計画及び実施には至れなかった。					
今後の展開(自立に向けた活動)					
・今年度は、避難指示が発令されることがなかったため、実戦での体験は出来なかった。今後も研修を通してボランティア的活動の意義を伝えていきたい。 ・坂下地区内の指定避難所の区割りに併せた会員配置を行い、避難所ごとの打ち合わせを実施する。 ・会員の高齢化もあるため、消防団退団者の勧誘を行っていく。 ・「地域防災会議」の開催で、意識の高揚につなげる。					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



○12/14開催 役員を対象とした研修会・・・16名参加



○2/22開催 会員を対象とした研修会・・・23名参加



◇サポーターベスト



◇コロナ対策資材

(令和4)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ゆうもりしんこうぼらんていあのかい		地域名	中津	地区	
	夕森振興ボランティアの会		会員数	10	人	
ふりがな 代表者名	おがた まさふみ		延べ 参加人数 内(会員数)	12 人(12 人)		
	小縣 雅文			7/13 一ツ滝遊歩道吊り橋点検		
事業名	滝巡りの遊歩道を整備する活動			11/12 遊歩道点検		
				12/15 吊り橋補修作業		
総事業費 内(補助金額)		201,827 円 (200,000 円)	実施期間	令和 4 年 6 月 8 日から 令和 4 年 12 月 20 日まで		
事業 分類	番号	①②		番号	④⑩⑪	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業					
事業 内容	事業の目的					
	夕森溪谷には多くの滝があります。年間を通じて多くの方が散策に訪れます。令和3年の台風によって通行に困難な箇所が出てきました。気軽に散策できる遊歩道の整備を行いたい。					
	具体的な活動内容					
	吊り橋及び作業道(登山道)の点検及び修理可能な箇所の把握と補修作業。					
	主な活動の流れ					
				→		
			点検	点検	補修作業	反省会
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)					
	吊り橋の桁が腐っていたので、桁の交換を行った。遊歩道の破損箇所は、新たな歩道を整備し、通行に困難な箇所は、チエンによる補強工事を行った。吊り橋については、丸架索道にお願いしたが、老朽化が進んでおりそのまま使用するには、大変危険であると結論が出たので、その旨市へ報告した。専門業者と一緒に作業道(登山道)の点検を行った。災害や、長年使っているので痛みが激しく補修も出来る限りとなった。作業道(登山道)で鎖を張って補助しているが、安全とは言えないので通行止めの処置をした。					
今後の展開(自立に向けた活動)						
・独自に補修できる箇所は、見回りにより補修出来る箇所を把握し、速やかに補修する。又、資金的に補修困難な箇所には、中津川市の判断を仰ぐ。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

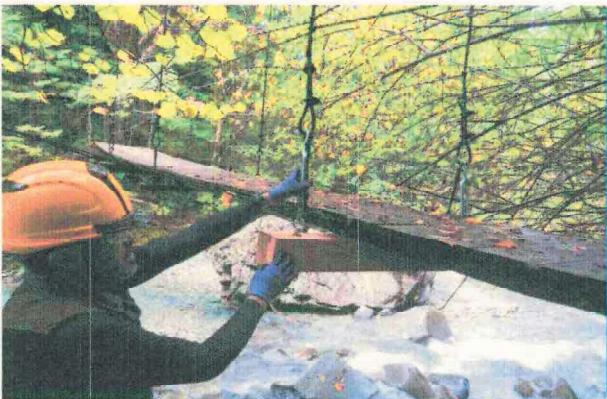
活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



銅穴の滝奥の吊り橋の現状



壊れた登山道



銅穴の滝奥の吊り橋修理状況



補修した登山道



仮修復した吊り橋



通行止めした一ツ滝手前の吊り橋

(令和4)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	かしもけいとらあさいちすいしんいんかい	地域名	加子母	地区		
	加子母軽トラ朝市推進委員会	会員数	10	人		
ふりがな 代表者名	くまざわ ひろし	延べ 参加人数 内(会員数)	2500 人(66 人)			
	熊澤 博志		顧客数は月平均約200~300名が来場。出店者は月平均15~20店舗。今年度は、キッチンカーなどが約10店舗増加した。12月はイベント開催で500名近くが来場した。			
事業名	加子母軽トラ朝市推進事業					
総事業費 内(補助金額)	233,741 円 (200,000 円)	実施期間	令和 4 年 4 月 1 日から 令和 5 年 3 月 10 日まで			
事業分類	番号	①②	番号	④⑤⑦⑧		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業内容	事業の目的					
	1、遊休農地の増加や農業従事者の減少対策、自給自足推進等の地域課題解決を解決する一対策とする。 2、地域住民の収入増や生きがいを創造し、遊休農地の活用、加子母の特産物販売を通じた加子母の住民同士の交流を進める。 3、地域の活性化と世代間や他地区(中学生、大人、業者間、隣接地区町村)との連携推進を進める。					
	具体的な活動内容					
	1、6月~12月の毎月第3日曜日、午前9時から12時まで道の駅かしも第2駐車場で「加子母マルシェ軽トラ朝市」を開催。 2、販売物の多様化を図り、各種イベント(路上ライブ、野菜品評会、くじ入り餅投げ、消防車キャンペーン)を推進。 3、ネット媒体(広報、インスタ等)と紙媒体(新聞折込み、むら協ニュース、パンフ)で新規出店、集客・出店者増を推進する。 4、出店者の研修の充実と軽トラ市のグレードアップを図る。(他地区軽トラ市視察、出店者の情報交流など)、 5、軽トラ朝市推進委員会月例会議(委員10名。毎月一度の会議開催、軽トラ市運営の改善を行う。) 6、各種団体(NPOかしもむら、むら協、道の駅、農業団体、商工会等)とのコラボを推進する。					
	←季節の野菜・花・果物・キッチンカー・ハンドメイド品・リユース品・地域の特産品を販売。→			①開催日時= 6月~12月の毎月第3日曜 9:00~12:00に開催。 ②場所=道の駅第2駐車場。 ③軽トラ朝市推進委員会= 毎月一回会議を開催して運		
	←路上ライブ、野菜品評会、くじ入り餅投げ、消防車キャンペーン、キッズコーナー等のイベント開催→					
	←諸団体(中学生の販売・顧客調査活動、農業分科会、NPOかしもむら、道の駅、女性団体)との連携→					
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)					
	1、ガンサポ助成のお蔭で自立して運営を続ける基盤が整った。(出店者や来場者の増加、広報・宣伝の定着、物置などの設置) 2、各種イベント(野菜品評会、防災活動、餅投げ、路上ライブ他)が定着した。路上ライブは毎月必ず開催し場内アナウンスを担当。 3、月例開催の「軽トラ朝市推進委員会」で改善や工夫が進み「加子母軽トラ朝市」が加子母地区内外に周知され、地盤が固まった。 4、来場客発信のインスタやブログが宣伝してくれた。パンフやのぼり旗、新聞折込み、むら協ニュース、広報放送でも周知が進んだ。 5、中3生徒の野菜販売、顧客調査、軽トラ市報告、キッズコーナー、無人販売コーナーの設置などで参加年齢層が拡大した。					
今後の展開(自立に向けた活動)						
1、出店者が66店まで増加しハンドメイド店と他市町村のキッチンカーが急増の一方、高齢化で農作物出店者数が減少傾向が課題。 2、盛んになったネットショップ「カシモール」やインスタ、ブログ、HP、加子母広報システムなどを活用して「軽トラ市」の販売網を広げる。 3、軽トラ市開催で住民、特に女性や子供の意欲、知恵、直感が巻き起こす力が大きいことがわかった。これを活かす活動を推進する。						

令和5年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

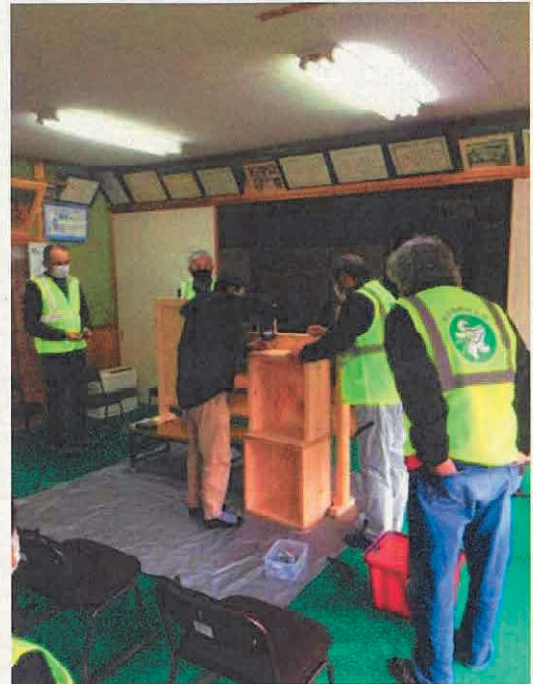
ふりがな 団体名	かしもぼうさいかい		地域名	加子母	地区
	加子母防災士会		会員数	30	人
ふりがな 代表者名	こうけつてるみ		延べ 参加人数 内(会員数)	240 人(60 人)	
	額 額 輝 己				
事業名	地域の防災意識向上				
総事業費 内(補助金額)	200,404 円	(200,000 円)	実施期間	4 年 6 月 1 日から 5 年 3 月 31 日まで	
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	①、②
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的				
	加子母地域で防災士の資格を持つ人が増えてきたので、防災士の連携を図るとともに、各自治会の防災士がその自治会の防災リーダーとして活躍できるようにする。 防災士対象の研修を行い、個々のスキルアップと防災リーダーの意識向上を図る。 地域住民の研修機会を設け、多くの住民が自分のこととして防災についての意識を向上する。				
	具体的な活動内容				
	10区のうち4区(二渡区、番田区、中切区、万賀区)で家具転倒防止の講習会を行った。のべ150名の参加を得た。また、加子母地区社会福祉協議会員に対して家具転倒防止の講習会を行った。 加子母中学校において、夏休みに職員向けに防災倉庫の物品点検を兼ねて、マンホールトイレの設置体験などを行った。また、中学生に対して避難所設置訓練を実施した。 富山大学の安江健一准教授を講師として阿寺断層についての講演会を企画・実施した。 中津川市防災タウンミーティングで活動を紹介することができた。				
	主な活動の流れ				
				二渡区講習会 中学校職員研修	番田区講習会 中学校研修会 タウンミーティング
	4月	6月	8月	10月	12月
					2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)					
家具転倒防止の区別講習会を4区で実施でき、のべ150名の参加を得た。プレゼンテーションの内容を工夫しわかりやすくてきた。 安江健一准教授を招いての講演会には25名の参加があり、大変充実したものにできた。当日は雨が強く、見学できない箇所があった。次年度に第2回の講演会を行う予定である。 中学校での防災にかかわる研修会は先生方の理解もあり、充実したものにできた。 防災安全課からの依頼でタウンミーティングで活動を報告することができた。					
今後の展開(自立に向けた活動)					
家具転倒防止講習会は、残る5区で実施するとともに、再度講習を希望する区や団体に対して実施する。 安江健一准教授をによる講演会を企画する。 中学校や小学校における防災教室を行い、年間計画に位置付けてもらう。					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



二渡区での講習会 R4.10.21



中切区での講習会 R4.11.5



中学校での防災教室 R5.2.10



万賀区での講習会 R4.11.9

参加費 無料

阿寺断層がもたらす 災いと恵み

～阿寺断層について学び、体験し、伝える～

日時 2022年11月13日(日) 午後2時～4時30分頃まで

場所 中津川市加子母B&G海洋センター 1階ミーティングルーム
住所: 千500-2312 岐阜県下呂市加子母3015-102 TEL:0573-79-3260

参加費 無料 申し込みは不要です! 参加希望の方は、当日会場にお越しください

お問い合わせ 加子母防災士会までメールをお願いします。メールアドレス: kashimobousaishikai@gmail.com

講師 安江 健一さん
中津川市加子母(角領)出身
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系 (都市デザイン学専攻地球システム科学科) 准教授
学生時代から阿寺断層を深く研究し、現在は日本区断層学会理事を務める。

講座内容

- 活断層とは何か? 地質と活断層の関係
- 阿寺断層の特徴(特に加子母の中)
- 地形と地質の観察して見方のポイントを知る
- 阿寺断層がもたらす災いと恵みを知る

私たちの足元には、将来の地震を知る手がかりが隠れています。活断層もその一つです。活断層である阿寺断層の特徴を知り、実際の地形と地質を見ながら、活断層がもたらした過去の地震を読み解くとともに、活断層の意思についても考えましょう。

主催 加子母防災士会

阿寺断層講演会チラシ R4.11.13



防災タウンミーティング R5.2.21

令和4年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	つけちさいくりんぐたいかいじっこういんかい		地域名	付知	地区					
	付知サイクリング大会実行委員会		会員数	32	人					
ふりがな 代表者名	みうら しゅういち		延べ 参加人数 内(会員数)	255 人(32 人)						
	三浦 秀一			参加者 201名 スタッフ150名(GTBC55名、中学生22名、商工会関係12名、交安協10名、実行委員会関係団体38名、看護師2名、総合事務所5名、まち協事務局6名)						
事業名	「～森林をかけぬけろ～ 付知サイクリング大会」		実施期間	令和 4 年 5 月 19 日から 令和 5 年 3 月 1 日まで						
総事業費 内(補助金額)	1,529,691 円	(200,000 円)								
事業分類	番号	②		番号	④					
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流						
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他						
事業の目的										
市内をはじめ全国の皆さんを対象に林道を活用したサイクリング大会を開催し、木のまち付知町の大自然を感じながら、紅葉とスポーツに親しんで頂く機会を作る。また、地元団体の協力を得て、地域の特色や観光資源を生かした大会にすることで「付知町」をPRする。付知町の豊かな自然と街中の魅力を体感して頂き、地域の特色や観光資源を紹介していくことで地域商工の発展につなげ市内外の方に付知の素晴らしさをPRしリピーターを増やし観光の振興を図る。										
具体的な活動内容										
付知町内及び近隣地区の74kmのコースを自転車で巡り大自然を味わってもらう大会。要所にはエイドステーション(休憩所)を設置し、郷土料理をはじめとする地元特産品を置き当地域の魅力を満喫してもらう。また付知中学校にボランティアを依頼し、中学生に当地域の自然と特産品に興味を持ってもらう。										
主な活動の流れ										
事業内容	大会概要作成	コース設定	エントリー受付	コース整備	書類整理、完了報告書、活動報告書等作成					
	現場確認		HP完成	関係者説明	協力業者嘆願					
				本大会						
	実行委員会	実行委員会	実行委員会	実行委員会	実行委員会	反省会				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)										
エントリー開始から2時間12分で定員200名に達した。欠席、リタイヤも少数あったが、大半が完走できた。参加者感想では各エイドステーション、沿道の見送りも多く地域の歓迎ぶりを感じて頂き大好評で、次回も参加したいとの声を多く頂いた。配布した倉屋温泉割引券の利用や提供品「栗きんとん」などを後日買い求めて来町した人達がいた。市、まち協、GTBCがコースの整備をしたが朝雨が降ったため、高低差の激しいコースなので走りづらいとの感想があった。大会で対応できる参加者は200名が上限だというスタッフからの意見がでた。										
今後の展開(自立に向けた活動)										
参加者の評判を受けて、実行委員会で第3回大会を行う方向の意見が出た。今回の反省点を生かしてより充実した大会を行う。また地域の特性を生かした内容をより工夫し近隣地域との連携を図る。町民にボランティア募集を掛けて行事内容の浸透とスタッフの人数確保を図る。										

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



大会集合写真



注意事項説明



スタート



エイドステーション



エイドステーション



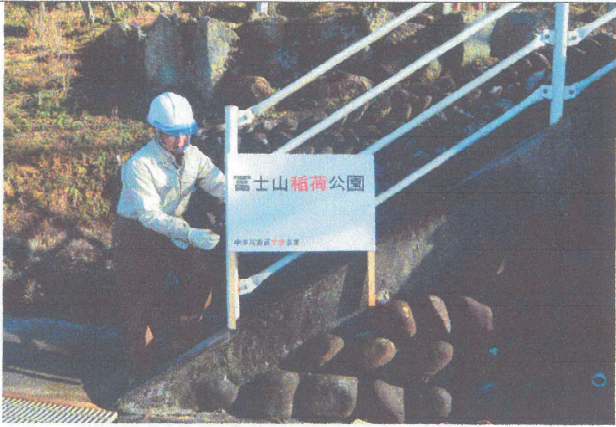
ゴール

(4)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ふじやまこうえんをうつくしくするかい	地域名	山の田・野尻	地区	
	富士山公園を美しくする会	会員数	52	人	
ふりがな 代表者名	はなだ すみお	延べ 参加人数 内(会員数)	50	人(人)	
	花田 住夫		枝打整枝16名、下草刈り15名、満天星 植樹8名看板作成3名、肥料散布8名		
事業名	どうだんつつじをまもりけいしよするじぎょう	実施期間	令和 4 年 6 月 7 日から		
	満天星つつじを守り継承する事業		令和 5 年 3 月 3 日まで		
総事業費 内(補助金額)	201 千円 (200 千円)				
事業 分類	番号	①②	活動 分野	番号	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他	
事業の目的					
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の活動にて公園内の満天星ツツジの整枝、満天星の苗木の植樹などを終わらせ公園全体の景観が良くなる。 ・頑張るサポート事業の活動にて地域の人達の絆により一層強い意識を作る。 ・5年度は富士山公園を巡る通路の整備を行い高齢者、いつも来る幼稚園生も気持ちよく見晴台まで登る通路整備を行う。 					
具体的な活動内容					
令和5年度の活動計画 (4)頂上よりの遠望確保の足場作成。 (1)公園内通路全般の除草。 (2)通路内にある傾斜、階段の整備。 (3)公園全山枝打ち整枝作業。					
主な活動の流れ					
事業 内容					
	4月	6月	8月	10月	12月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)					
<ul style="list-style-type: none"> ○ つつじの枝が密集して枯れる寸前でしたが整枝作業により木に力が蘇った。 ○ つつじが背が高く伸びすぎたので公園全山の枝打ち作業となり、強めの作業が続いた。 ○ 山全体が花崗岩なので植樹や移植などに土が少なく樹木が枯れるのではないかと心配。 ○ コロナの蔓延の影響で公園整備を呼び掛けても会員の応答が今一だった。 					
今後の展開(自立に向けた活動)					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 選定の技術、移植の方法等公園整備作業時に書面にて声掛けを行い運動の伝承をしていく。 ○ 公園内にある石碑に説明を付け、歴史ある物として保存の意識を強くする。 ○ 満天星つつじをふたたびパンフレットの一面を飾る事が出来るように地区民全体で管理する。 					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



公園看板作成(R5.1.10)



枝打ち作業(R4.6.5)



枝打ち作業完了(R4.8.21)



標高を表示(R4.9.18)



どうだん植樹(R4.4.9)



名号塔(R4.9.18)



中心メンバーそろい踏み(R4.9.22)



肥料散布(R4.10.9)

令和4年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	えびすざとものかい 蛭子座友の会	地域名	蛭川	地区	
ふりがな 代表者名	やまおか えいじ 山岡 英二	会員数	47	人	
事業名	蛭子座の積極的活用 推進プロジェクト	延べ 参加人数 内(会員数)	760	人(80 人)	
総事業費 内(補助金額)	177,145 円 (150,000 円)	実施期間	令和 4 年 6 月 1 日から 令和 5 年 3 月 31 日まで		
事業分類	番号 ① ①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの進展に寄与する事業	活動分野	番号 ⑩ ①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業の目的					
<p>全国でも数少ない劇場型公民館で中津川市有形文化財に指定されている蛭子座を、歌舞伎だけでなく芸能・音楽・講演・研修会など、できるだけ多くの催しや活動に活用していくため、地域の要望を積極的に取り入れながら企画・運営を推進していく。</p> <p>○地域の課題(高齢化、過疎化、健康医療、等)の現状と対策を学ぶ研修や講演の誘致を図る。</p> <p>○地域の文化に刺激を与えられる催しを企画・運営し、地域文化の向上を図る。</p> <p>○蛭子座での催しを通して、地域の人同士の交流をさらに深め、願いを実現できるよう努める。</p>					
具体的な活動内容					
<p>蛭子座を活用した催しの企画と運営及び協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演劇鑑賞会(8/27)・・・コロナ感染防止のため中止 ・健康講演会(9月)・・・感染防止のため中止 ・映画上映会(10/18)・・・「青い山脈」上映・運営協力 ・太鼓と和楽器コンサート鑑賞会(12/4)・・・運営協力 ・笠置山麓音楽フェスタ(12/11)・・・企画・運営協力 ・スクランブルコンサート(2/19)・・・運営協力 					
主な活動の流れ					
事業内容	年間計画作成	役員会開催	8月演劇鑑賞中止 9月講演会中止 10月上映会準備	12月企画準備 12月コンサート 12月音楽フェスタ	2月コンサート 役員会開催
	4月	6月	8月	10月	12月 2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)					
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染拡大が広がり8月と9月の企画は中止となったが、10月以降はほぼ予定通りに感染防止に努めながら実施。目的である蛭川公民館蛭子座の積極的活用は定着してきている。 ・地域課題解決に向けての研修や講演、子ども達向けの映画上映等、今年度は実施できなかったため、次年度に引き継いで企画運営を進める。 ・友の会について、地域住民への理解がまだまだ不十分なので、啓発し会員数を増やす。 ・蛭川振興会と連携しながら、住民の声を集めながら企画していくようにしたい。 					
今後の展開(自立に向けた活動)					
<ul style="list-style-type: none"> ・蛭子座活用の企画・運営第三ステージ・・・地域課題解決に関わる講演会・映画会等の実施 ・映画「二宮金次郎」上映会(8/6に予定)・・・中津川市主催/文化会館の運営に協力 ・瀬戸昌之先生「持続的な社会の構築」講演会の開催・・・企画・運営(振興会と連携) ・子ども向け映画「この世界の片隅に」上映会・・・企画・運営(青少年健全育成蛭川支部と連携) ・「笠置山麓音楽フェスタ」の継続的開催に向けて・・・企画と運営に協力 ・地域の要望に応じて必要な企画を進めていきたい 					

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

なつかしの映画会

青い山脈

「青い山脈」は、石坂洋次郎の同名小説を映画化したもので、何度もリメイクされた人気作品です。今回は、1963年版で、若き日の吉永小百合、沢村国太郎、高橋英樹やなつかしいスターたちの魅力がたっぷり楽しめる映画です。
みなさま、ぜひご覧ください。



10月18日(火)
開演: 10時30分 徳川公民館
共催: 蛭子産友の会・あじさい学級
観覧料: 500円
問い合わせ先: 徳川公民館 TEL 22-9215



おかげさまで
50周年
後 エナ重機
感謝のつどい

・12月4日(日) 蛭子座

午後1時開演 11:00(開場13:00)
13:45開演 19:00(開場18:00)
18:30開演 21:00(開場20:00)

主催: 蛭子座
後援: 徳川公民館

10/18 (火) なつかしの映画会
公民館講座「あじさい学級」と共催
60名の参加で好評…来年度も開催したい

12/4 (日) 和太鼓/琴・尺八共演コンサート
地元企業の企画に協力
400名の来場があり好評でした

笠置山麓音楽フェスタ

令和4年12月11日(日) 開演 14:00~
会場 13:30
蛭川公民館響子座(ホール) 入場無料

笠置山麓の山麓に広がる歴史の里山で音楽や演奏を楽しむ仲間たちによる
恒例のイベントです。多くの団体のご来場が期待されています。

出演グループ

- おはなしの会: 今年からその年、歌謡曲の魅力を伝える会です。過去の歌謡曲をテーマにした歌謡曲の演奏・歌唱を行います。
- マンドリンアンサンブルなかのぼる: 2009年中野公民館職員として発足して今年で15周年。練習も兼ねながら、地域交流の場として、多くの団体の来場を希望しています。
- ファーマーズ: 農産物を中心に活動している音楽グループです。自然の恵み、作物を育てる喜びと共に、仲間との絆を大切に活動しています。
- 中津川合組団楽天鼓: 7年前、「おごそき祭典の会」の発足に伴い、おごそき祭典の会に所属していた天鼓演奏部が独立して活動しています。
- 地蔵まわりのうた合組: 日2年前、九所町有明の地蔵で会合して活動していた人たちが、地蔵も生活も暮らすようになった時、人懐かしい地蔵をテーマに活動を始めました。地蔵まわりのうた、日本中の地蔵をテーマにした歌謡曲を演奏しています。

主催/笠置山麓音楽フェスタ実行委員会 協賛/蛭子産友の会
お問い合わせ先: 徳川公民館 TEL 22-9215

日進会: 本会が主催する音楽フェスタは、地域の活性化と音楽の普及を目的として、毎年開催されています。今年も多くの団体の参加を期待しています。

蛭音バンド講座生: 今年からスタートした音楽講座の成果発表の場です。参加者全員が演奏する機会があります。

ギターとピアノ: 本会が主催する音楽フェスタは、地域の活性化と音楽の普及を目的として、毎年開催されています。

ジュニア&キッズ: 本会が主催する音楽フェスタは、地域の活性化と音楽の普及を目的として、毎年開催されています。

特選太鼓: 本会が主催する音楽フェスタは、地域の活性化と音楽の普及を目的として、毎年開催されています。

Reno: 本会が主催する音楽フェスタは、地域の活性化と音楽の普及を目的として、毎年開催されています。

セクシーズ: 本会が主催する音楽フェスタは、地域の活性化と音楽の普及を目的として、毎年開催されています。

Joy petit: 本会が主催する音楽フェスタは、地域の活性化と音楽の普及を目的として、毎年開催されています。



12/11 (日) 笠置山麓音楽フェスタ
初めての試みでしたが5グループの出場
参加/鑑賞200名…来年も企画を希望する声

2/19 (日) 第5回スクランブルコンサート
多彩な楽器演奏グループの参加
参加/鑑賞100名…蛭音コネクトが企画運営
公民館「蛭音バンド講座」生の参加

令和4年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なかつひがしちくまちづくりすいしんきょうざい	地域名	中津東	地区	
	中津東地区まちづくり推進協議会	会員数	37	人	
ふりがな	ほらた おさむ	延べ 参加人数 内(会員数)	約530 人(約530 人)		
代表者名	洞 田 治		1. まち協役員会、総務・福祉部会 370人 2. 先進地区訪問 20人 3. 研修会参加 20人 4. 関係先との協議 20人 5. 広報発行 30人 6. 食堂準備・実施 50人 7. 反省会 20人		
事業名	子ども食堂立ち上げ事業				
総事業費 内(補助金額)	50,593 円 (50,000 円)	実施期間	令和 4 年 4 月 26 日から 令和 5 年 2 月 20 日まで		
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	① ②
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	① ②	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業					
事業 内容	事業の目的				
	1. 近年共働き家庭の増加により、子どもの孤食が多くなっており、これに支援をする。				
	2. 食事の提供対象者は子どもに限定せず、一人暮らしの高齢者も対象とし、特に制約はしない。				
	3. この取り組みを通して地域内の住民、企業に理解と協力してもらえ活動を目指す。				
	4. 地域に根差した継続できる活動とする。				
	5. 将来的には子どもや高齢者に居場所の提供ができることを目標とする。				
	具体的な活動内容				
	1. 先進地区訪問				
	2. 市役所、社会福祉協議会、商工会議所等を訪問して進め方、場所の選定等相談				
	3. 地域内区長会において経過報告と協力要請				
4. 社会福祉協議会主催の地域の子ども支援活動事例報告会・研修会に参加					
5. 地域内に広報発行配付					
6. 2月8日に子ども食堂立ち上げ実施					
主な活動の流れ					
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)					
1. 立ち上げ準備期間ということで活動は部会員が何度か協議を重ねて行ってきた。					
2. 協議を重ねる中で会員からとにかく実施し、問題点をピックアップしてできる方法を考えようという前向きな意見が出て雰囲気はよくなってきて、協調体制が出来てきた。					
3. 配布したチラシを見た市民から運営に協力したい旨の申し出があり心強く感じた。					
4. 地域内関係者の中には疑問を感じている旨の意見があり、丁寧な進め方に心がけた。					
今後の展開(自立に向けた活動)					
1. 事業継続のため子ども食堂を毎月1回実施することを目標に活動する。					
2. 部会員以外の人にも理解、協力してもらおう取り組みを行う。(人材確保、運営資金、食材提供等)					
3. 地域内に定期的に実施できる場所、設備の確認。(市民交流プラザ)					
4. 地域内への広報活動の取り組み。					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



7月8日ふしみ子ども食堂訪問
建物外観(右側) 左の建物は小学校



7月8日ふしみ子ども食堂
関係者との意見交換会



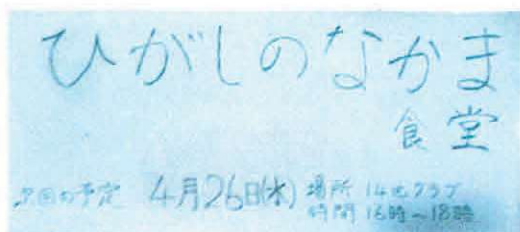
10月14日地域子育て支援「子ども食堂」実践事例報告・研修会
場所: 苗木交流センター



2月7日総務部会・健康福祉部会
子ども食堂立ち上げ準備事項
確認会議 場所14区クラブ



子ども食堂開設当日調理の様子
2月8日 14区クラブ



玄関受付の臨時看板

初回のメニュー
テイクアウト方式
提供食数 30食



中津川市 定住推進部 市民協働課
TEL 0573-66-1111 (内線325)